

令和 6 年度 第 1 回教育編成委員会 会議議事録

1. 日時：2024 年 6 月 24 日 15:00～16:00

2. 場所：日産愛媛自動車大学校 会議室

3. 参加者 学校外委員

出席者 有職者代表 愛媛大学 教授 工学博士 中原 様

企業代表 愛媛日産自動車（株）サービス部 田村 様

企業代表 日産プリンス愛媛販売（株）サービス部 樋口 様

学校内委員

出席者 日産愛媛自動車大学校 校長 岡 豊

日産愛媛自動車大学校 部長 高橋 潔

日産愛媛自動車大学校 科長 西浦 進一

4. 教育編成委員会内容

1) 現在の学校がおかれている現状説明

岡 委員) 3 月に高橋校長が亡くなった為、岡に変更となった。最近は就職の状況は良いが生徒が集まらない。学校としては教育が一番の仕事であり、さらに販売会社の満足度も上げていく事が重要であると考えている。そのためには販売会社の学校に対する要望を深堀し、車も変化している中、販売会社のニーズを知る必要がある。本日はこの委員会の中で有意義な意見交換をさせて頂きたい。

2) メンバー紹介（学校外委員 3 名、学校内委員 3 名）

3) 各委員の選出

- ・委員会の進行を学校の高橋潔、書記係に学校の西浦を任命。賛同を得て承認。

4) 第 1 回教育編成委員会

—議事—

高橋 潔委員)

① 【FY24 愛媛校体制説明】

- ・校長を高橋照から岡に変更した。
- ・校長代行として事務長の大政を兼務とした。
- ・国際自動車整備科 1 年の担任をミャンマー人の女性教員（AYE MYA MYA THWIN）（2 級整備士）とした。
- ・過去 2 年間、新入生の減少に伴い 1, 2 年生を 1 クラス運営として、学科授業を他の教員が学生フォローする事で理解度アップを図る。

② 【国家試験結果報告】

- ・1級は29名受験し、28名が合格、1名が不合格となった。不合格者は、試験1週間前に体調を崩しその後、本番までに学力がリカバリー出来なかったのが要因と思われる。5月の口述試験では28名全員合格している。筆記、口述のトータル合格率は96.6%
- ・2級は69名が受験（内訳：1級工学科2年22名、自動車整備科卒業者31名、国際自動車整備科3年16名）ガソリン3名不合格（2名日本人、1名留学生：自動車整備科）、ディーゼル全員合格となった。日本人2名の不合格者は国家試験手前で気が緩み油断してしまったのが要因、受かる実力はあった。留学生はベトナム出身者でガソリンを受験後、合格を確信しディーゼルは気が緩んだと思われる。国際科1期生16名は両資格とも全員合格し、成果が出せた。合格率は、2級ガソリン95.7%、2級ディーゼル100%、トータル合格率97.8%であった。

樋口 委員）不合格者の受験意思と学校対応はどうするのか。

高橋 潔委員）本人に受験意思を確認し、学校としてサポートさせていただく。

③ 【ループリック評価の導入】

- ・今年度から実習授業の取り組み評価を大きく変更した。愛媛大学より有識者の講習を受け、今年度からループリック評価を全学年の実習に取り入れた。日産5校でも全体で進めている。実習授業の取り組み評価では「自主性・主体性」を柱として評価項目を設定し学生と共有し、各巡の教科終了後、学年担当教員でレベリングの上、評価を決定する。レポートは教科の修了試験までに提出させ、評価についてもループリックにて評価項目を設定し、取り組み評価と同様に行っている。レポートの出来が良いものは加点する場合もある。なお、評価は100点満点のうち取り組み評価15%、レポート評価15%としている。

中原 委員）教員は大変だが、生徒にとっては良い事だと感じる。

④ 【多様化する学生への対応】

- ・少子化と自動車離れなどから日本人学生の減少、留学生比率の増加があり学生の個性も様々となっている。その為、不登校に陥る学生や、授業に集中できない学生も多く、学力不足と併せ教員の負担が増加している。昨年は退学者17名（内、留学生が2名）が退学となり、勤怠不良が7名、学力不足が4名、退学率は8.8%であった。FY22についても18名、9.8%であった。入学後にADHDと思われる学生も増えてきている事から、今年度の体制の通り、1,2年の1クラス体制のメリットを充実させ、授業担当教員＋サポート教員で学生フォローを行って行く。

中原 委員）大学で退学は余りなく、その代わり留年する。退学率と同程度である。愛媛大学では、他の大学と比べ、学生対応が充実出来ている。

岡 委員）聖稜高等学校も最近、退学者が増えている。特にコロナ期の学生が入学している影響があると感じる。専門学校では、毎日登校し、実習を行うサイクルをこなしきれない学生も増えている。

⑤ 【FY23 販売会社アンケート報告】

- ・FY23 の愛媛校日産圏新入社員についてのアンケート結果では、整備技術力について、コンサルト（外部診断機：OBD）で故障部位の特定、理論的に順序だてた故障診断の項目は、例年の課題であるが、やはり低い。応対力日常業務については、昨年より各項目が多く下回る結果となった。

⑥ 【国際自動車整備科活動報告】

- ・国際科 1 期生 16 名が卒業しガソリン、ディーゼル資格に全員合格できた。得点推移に個人差はあったが、努力が実を結んだ結果となった。
- ・国際科 2 期生の 1 名が、本国からの仕送りが途絶えた為、特別技能で介護職に進路変更となった。
- ・国際科 3 期生の 1 名は、冬季休暇中に無断で母国に帰国し、音信不通になった為、除籍処分とした。

⑦ 【TA3 級認定書申請書誤発行】

- ・他校で、2024 年 3 月卒業の工学科学生について、損害保険資格が未取得で TA3 級認定書が発行されている事が発覚した。日産校全体を調査した結果、愛媛校卒業生について、愛媛日産 1 名、プリンス愛媛 2 名が未取得のまま発行されている事が確認された。NML からは、今回の未取得者については認定するが、今年度内に損害保険資格を取得できない場合は資格を剥奪する回答であった。
- ・対策は、卒業生については、合格に向け、学校がサポートし、取得確認後、速やかに関係各所に報告を行う。在校生の損害保険取得状況については、関係教員が閲覧可能な場所に受験データを管理し、不合格者を合格に向けたサポートを管理する。

中原 委員) 卒業生の県内就職比率はどれくらいか。

各 委員) 今年は、愛媛日産入社 21 名(内県外 1 名)、プリンス愛媛 5 名、県内での他メーカーや 2 輪の就職者もいる。留学生は県外に出ていく学生が多い。

中原 委員) 愛媛大学の入学者は、県外 1/3 強で、ほぼ広島から来ている。就職は県外就職が少しずつ上がってきている。最近は大手会社の求人が強い。

岡 委員) 営業職の入社は過去、松山大学からが好調であったが、学生が WEB で調べて自分で活動するので選んでもらえない。

以上

令和 6 年度 第 2 回教育編成委員会 会議議事録

1. 日時：2025 年 1 月 17 日 15:00～16:00

2. 場所：日産愛媛自動車大学校 会議室

3. 参加者 学校外委員

出席者 有職者代表 愛媛大学 教授 工学博士 中原 様

企業代表 愛媛日産自動車（株）サービス部 田村 様

企業代表 日産プリンス愛媛販売（株）サービス部 樋口 様

学校内委員

出席者 日産愛媛自動車大学校 校長 岡 豊

日産愛媛自動車大学校 事務長 大政 浩行

日産愛媛自動車大学校 部長 高橋 潔

日産愛媛自動車大学校 科長 西浦 進一

4. 教育編成委員会内容

1) 現在の学校がおかれている現状説明

岡 委員) 全国的に少子化や自動車離れなどにより募集が心配される中、愛媛校においては留学生の直接入学のルートを確立することができたため、優秀な留学生が入学予定となっている。また、日本人についても、リクルーターの努力が実り、ほぼ予定していた通りに受験者が集まっている。学習面においては、3 月の登録試験での全員合格に向けて教育部が一丸となって取り組んでいる最中で、是非パーフェクト合格となるよう期待している。本日は会議の中で報告させていただくので、是非忌憚のない意見を聞かせていただきたい。

2) メンバー紹介（学校外委員 3 名、学校内委員 3 名）

3) 各委員の選出

・委員会の進行を学校の高橋潔、書記係に学校の西浦を任命。賛同を得て承認。

4) 第 2 回教育編成委員会

—議事—

高橋 潔委員)

⑧ [FY24 中間報告]

・休学、退学者の状況についての報告。昨年同様に 1 年次での退学者が多く、整備士という職業について十分理解しないまま入学し、授業についていけない学生や精神的な理由でリタイヤする学生が多くなっている。

- ・遅刻率については、昨年遅刻者が多かった1年生がそのまま進級しているので、2年生の遅刻が非常に目立っており、対応に苦労している。1年生も寒くなってからの遅刻者が増加傾向にある。

⑨ [1 年部取組報告]

- ・昨年と同じ教員で担当することにより、基本に忠実でぶれない指導を目標に取り組んでいる。昨年と比較して整備科学生の意欲はやや高いように感じるが、中には非常に学力の低い学生もいるため、進級が危ぶまれるものが一定数いるので、今後いかにして理解させていくかが課題。工学科学生については学力にばらつきがあり、平均すると昨年より学力が低い。国家試験までたどり着けるか心配している。国際科と合わせて留学生が30%と多くなったが、日本人との成績の差はあまり感じられない。日本語理解の低い学生が数名いる。

樋口 委員) 弊社でも人材が不足しているので、今後は留学生の採用について検討したいが、経営者が難色を示しているため実現できていない。今後も留学生の成績や取り組みについて共有していただきたい。

⑩ [2 年部取組報告]

- ・遅刻、欠席者の増加が深刻で苦労している。四半期制から前・後期制に移行した学年であるが、再試験や判定試験の感覚が広がったため、学びなおそうとする意識が薄くなっているように感じる。
- ・低位学生の割合が多いため、国家試験対策で苦労しているが、全員を卒業させて国家試験に合格させることはかなり困難である。

中原 委員) 大学においても意欲の欠如した学生に苦労している。そのため毎年一定数の学生が落第してしまう。

⑪ [工学科3年生、4年生取組報告]

[3 年生]

- ・残念ながら進級直後に退学した学生が1名いたが、それ以外の学生については就学意欲が比較的高く、日産自動車やサプライヤー企業への就職についても意欲的に取り組むことができている。
- ・日産5校で実施している統一試験結果については、おおむね平均的な得点状況であるが、新技術分野においての得点が低迷している。

[4 年生]

- ・個々の意欲としては比較的高い学年であるが、全体としてのまとまりがあまり感じられない。
- ・国家試験対策としては、教員3名ではごく低位の対応が難しいため、応援教員を1名追加して取り組みを実施している。

田村 委員) 日産自動車の就職希望者には愛媛日産を滑り止めとして採用試験を受けていただいたが、どれくらいの割合で合格するのか知りたい。日産自動車を受けるような優秀な人材であれば是非入社していただきたい。

岡 委員) 合格できるかについては受けてみないと何とも言えないと思うが、優秀な人材を確保するためには今後についても滑り止めでよいので愛媛日産が受け皿になりたい。

⑫ 〔国際自動車整備科報告〕

[1 年生]

- ・ 7 月に JLPT 日本語能力試験を 18 名が受験したが、1 名が N2 に合格したが、ほかの 18 名は不合格となってしまう。今後は日本語能力試験に向けた特訓内容の見直しが必要。

[2 年生]

- ・ 就職活動に向けて希望委調査を実施したところ、対象者 7 名全員が日産販売会社への就職を希望、今後、順次採用試験を受験予定。

[3 年生]

- ・ 学生数は 4 名と少ないが、学習意欲が非常に高いため日本人と遜色ないレベルに仕上がってきているため、国家試験についても問題ないと考えている。

中原 委員) 卒業生の就職試験を受けるに際し、学校から何らかの指導をして受験する企業を決定しているのか。

大政 委員) 就職にあったっては本人の意思を尊重して受けさせている。第 1 希望先が不合格であったとしても、整備士が不足しているため就職できない学生はいないため、ない都市就職率は 100%となっている。

中原 委員) 愛媛大学においては広島県からの入学者が多いため就職については愛媛県外が多くなってしまう。希望としては大手企業に集中する傾向にある。

⑬ 〔新資格制度についての共有〕

- ・ 旧カリキュラムで受講していた学生が留年し、新カリキュラムのタイミングで復学した場合、卒業時に受ける国家試験は新カリキュラムでの受講者を対象としているため、不足している内容については通常の授業外で有料にて補習を受ける必要がある。

高橋 委員) 現時点での計算では約 40 時間程度の補習が必要となるが、金額については日産 5 校であまり差が出ないように検討中となっている。

以上